

2020年9月期 第2四半期決算説明資料

2020年5月13日

SPRIX

株式会社 スプリックス

(東証1部 7030)

＜資料取扱い上のご注意＞

このプレゼンテーションで述べられている株式会社スプリックスおよびグループ会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

お問い合わせ先

株式会社スプリックス
管理部 IR担当
TEL:03-6912-7058
<https://sprix.jp/>

目次

1	会社概要	3
2	2020年9月期第2四半期連結決算概要	7
3	2020年9月期連結業績予想	15
4	森塾について	20
5	その他事業について	24
	Appendix	33

1 会社概要

会社概要

- 【 社 名 】 株式会社スプリックス (SPRIX, Ltd.)
- 【 設 立 】 1997年1月
- 【 資 本 金 】 1,422百万円
- 【 事業内容 】 個別指導塾の運営、教育コンテンツの開発、ダンススクールの運営
- 【 役 員 】

代表取締役社長	常石 博之
取締役	平石 明
取締役	平井 利英
取締役常勤監査等委員	松原 克利
社外取締役監査等委員	大津 広一
社外取締役監査等委員	松浦 剛志

- 【 正社員数 】 437名 *2019年9月末時点
- 【 本 社 】 新潟県長岡市東坂之上町2-2-1
- 【 東京本社 】 東京都豊島区西池袋1-11-1

MISSION

「教育」を通して、
世界中の人に「人生の新たなステージ(春)」を届けること。

VISION

「教育IT」で世界No.1企業になること。

事業概要

SPRIXは日本最大規模の個別指導事業を中心に
ITを駆使した教育コンテンツ事業、社会人対象の生涯教育事業も持つ
総合教育企業です。



※売上構成比は2020年3月末実績となっております。

2 2020年9月期第2四半期連結決算概要

業 績

- 前年同四半期単体実績比 減収減益。
連結売上高 : 5,885百万円 (前年同期単体比 $\Delta 0.5\%$)
連結営業利益 : 962百万円 (前年同期単体比 $\Delta 38.3\%$)

※当期第2四半期より連結決算を行っておりますので、増減は前年同四半期単体実績との比較を記載しております。

トピックス

- 「森塾」
 - ▶ 第2四半期末時点で直営109教室(前年同期比+12教室)
 - ▶ 直営在籍生徒数25,054人(前年同期比+1,395人)
- 「自立学習RED」
 - ▶ 第2四半期末時点でFC110教室(前年同期比+45教室)
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響
 - ▶ 3月休校・4月振替 → 一部売上(228百万円)が第3四半期にズレ込み
 - ▶ 春期講習の入塾軟調
- 広告宣伝活動、人材採用はほぼ予定通り実施

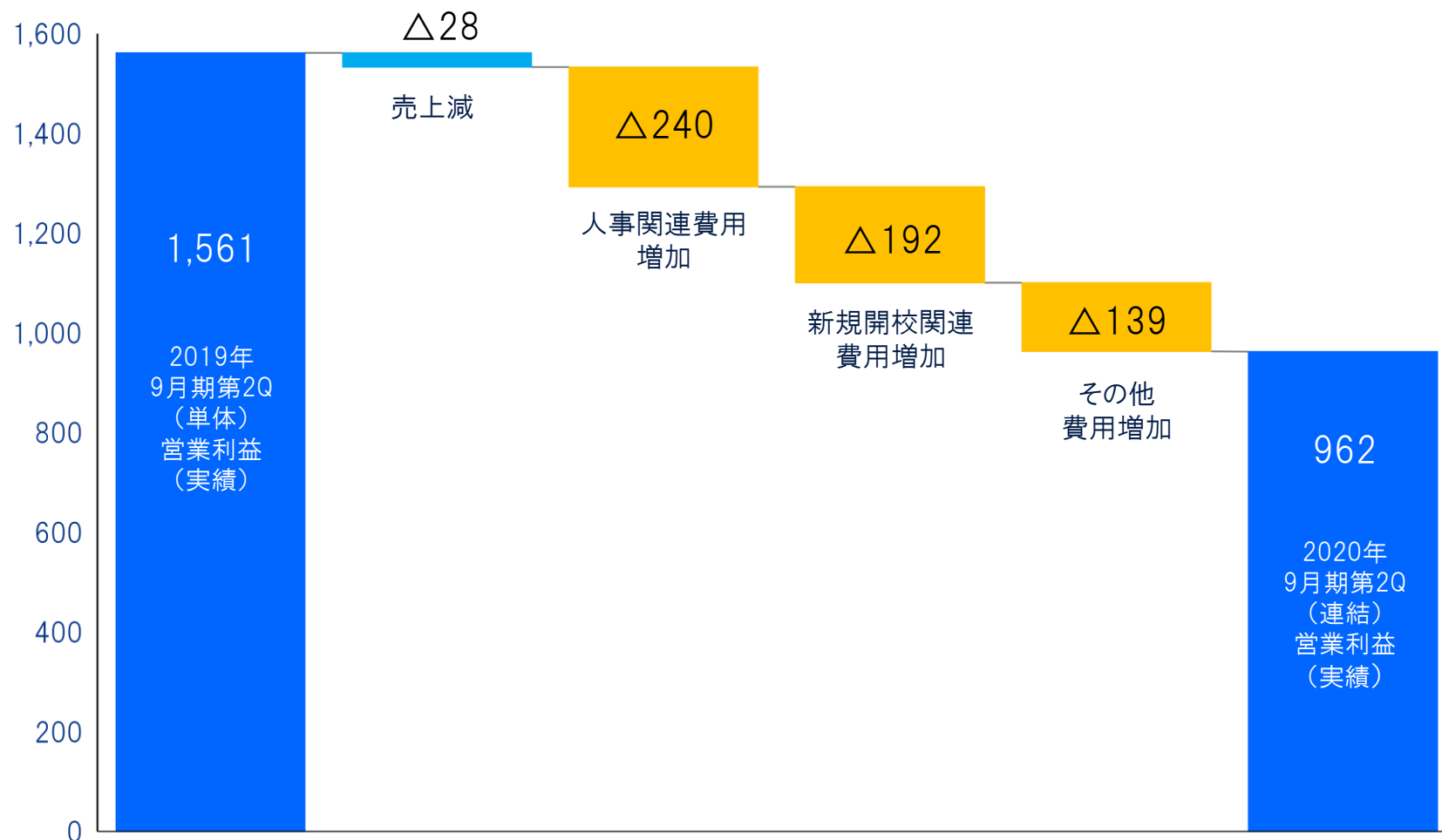
連結損益状況 前年同四半期単体実績比

	2019年9月期第2Q (単体) 実績		2020年9月期第2Q (連結) 実績				
	金額 (百万円)	売上高比	金額 (百万円)	売上高比	増減		主な増減要因
					額(百万円)	率	
売上高	5,913	—	5,885	—	△28	△0.5%	授業の一部を4月に振替
売上原価	3,138	53.1%	3,563	60.6%	+425	+13.5%	人事関連費用、新規開校費用増加
売上総利益	2,774	46.9%	2,321	39.4%	△453	△16.3%	
販管費	1,213	20.5%	1,358	23.1%	+145	+11.9%	人事関連費用増加
営業利益	1,561	26.4%	962	16.4%	△599	△38.3%	
経常利益	1,562	26.4%	962	16.3%	△600	△38.4%	
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	1,026	17.4%	698	11.9%	△328	△31.9%	

※当期第2四半期より連結決算を行っておりますので、増減は前年同四半期単体実績との比較を記載しております。

営業利益の差異分析 前年同四半期単体実績比

単位：百万円



※当期第2四半期より連結決算を行っておりますので、増減は前年同四半期単体実績との比較を記載しております。

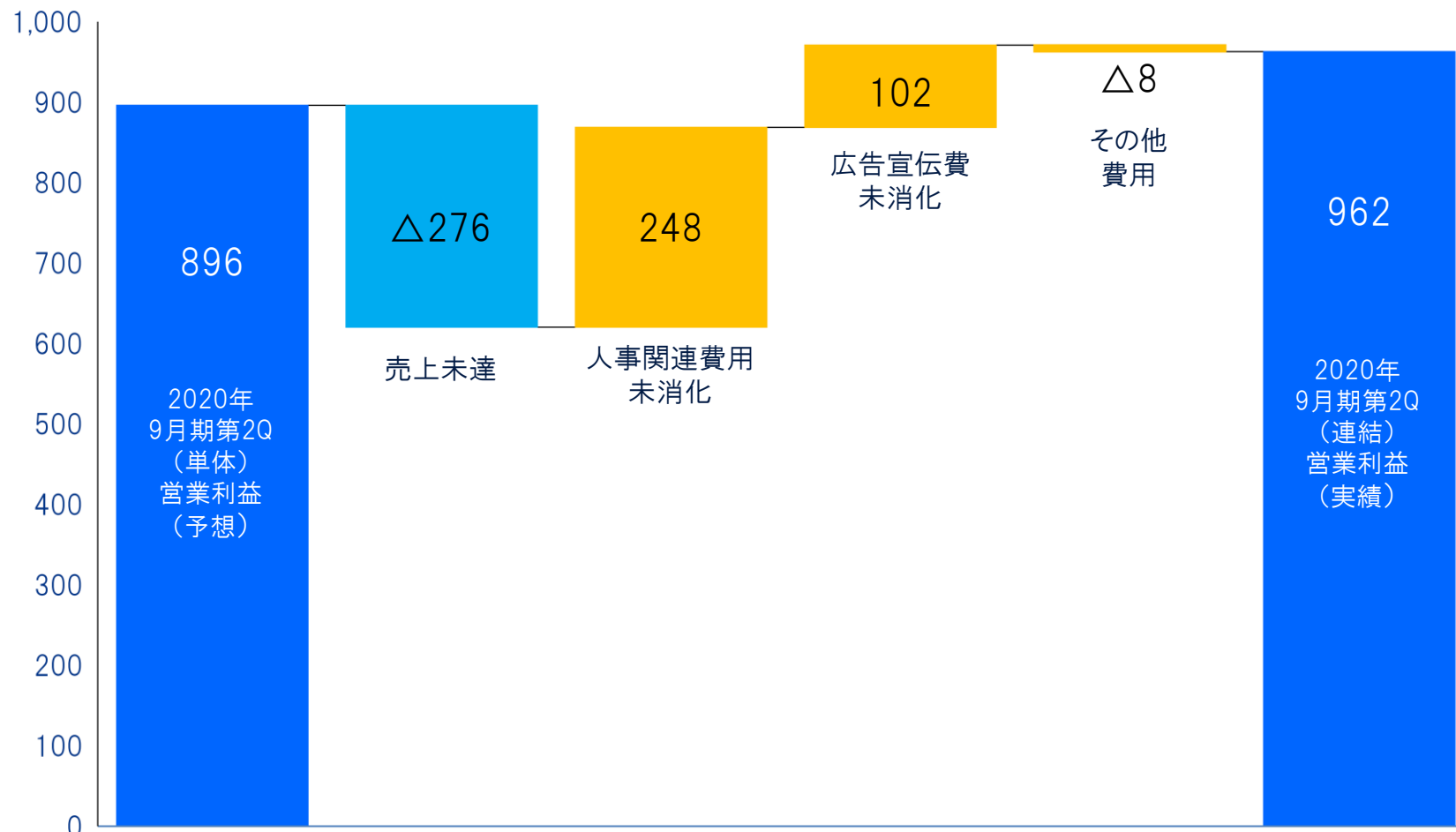
連結損益状況 期首予想比

	2020年9月期第2Q (単体) 予想		2020年9月期第2Q (連結) 実績				
	金額	売上高比	金額	売上高比	対予想比		主な増減要因
	(百万円)		(百万円)		額(百万円)	率	
売上高	6,160	—	5,885	—	△275	△4.5%	授業の一部を4月に振替
営業利益	896	14.5%	962	16.4%	+66	+7.4%	人事関連費、広告宣伝費等未消化
経常利益	896	14.5%	962	16.3%	+66	+7.3%	
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	573	9.3%	698	11.9%	+125	+21.8%	

※当期首においては連結業績予想を公表しておりませんでしたので、増減は期首時点の当期第2四半期単体業績予想との比較を記載しております。

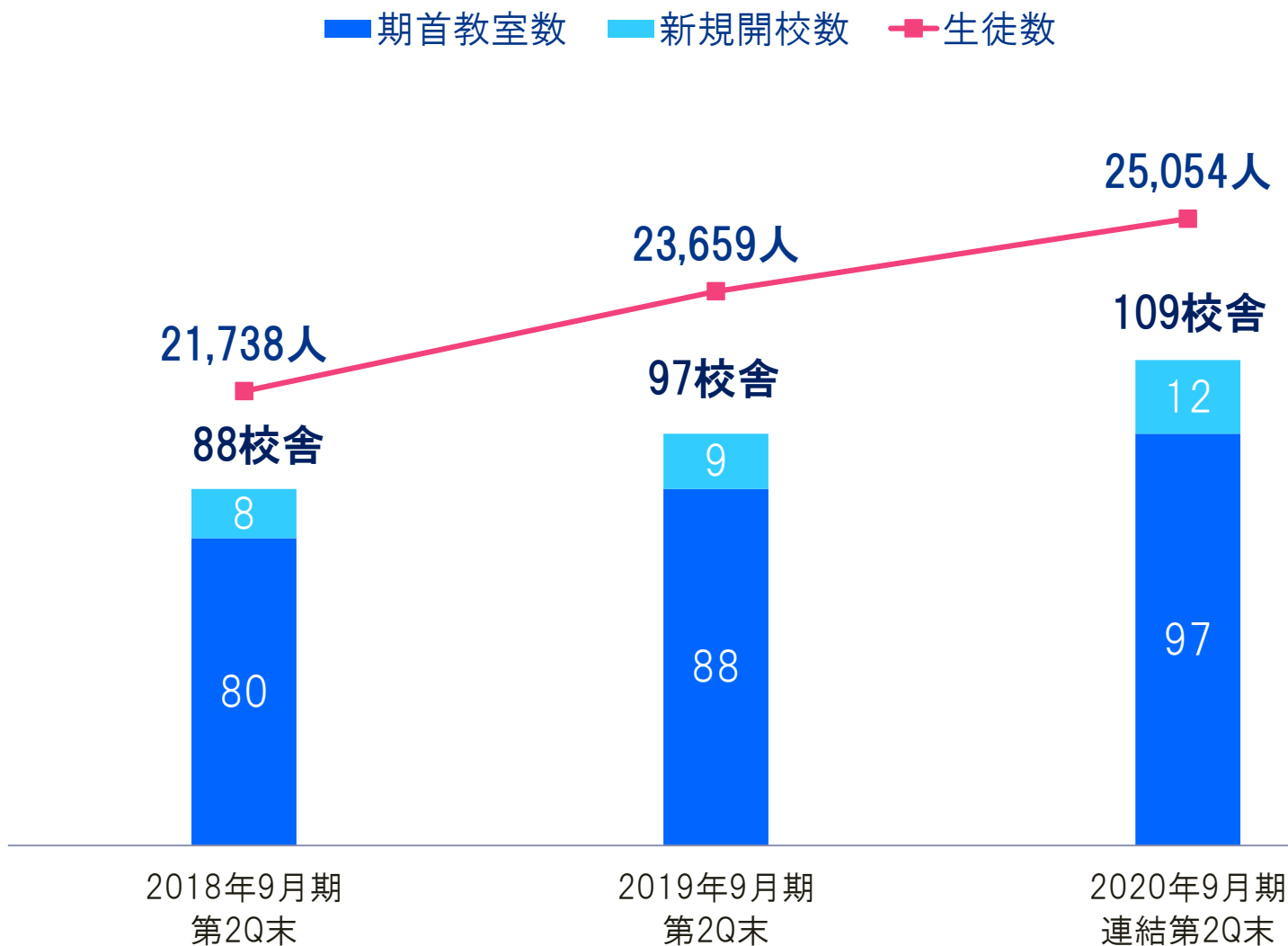
営業利益の差異分析 期首予想比

単位：百万円



※当期首においては連結業績予想を公表しておりませんでしたので、増減は期首時点の当期第2四半期単体業績予想との比較を記載しております。

森塾(直営)の教室数と生徒数の推移



2020年9月期連結第2四半期 財務状況/キャッシュ・フロー状況

	2019年9月期末 (単体)		2020年9月期第2Q末 (連結)			
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	8,891	81. ⁹ %	9,299	80. ⁸ %	+408	現預金+337 など
固定資産	1,970	18. ¹ %	2,210	19. ² %	+240	建物+344 など
資産合計	10,861	100. ⁰ %	11,509	100. ⁰ %	+648	
流動負債	2,788	25. ⁷ %	3,112	27. ⁰ %	+324	未払金+221 など
固定負債	430	4. ⁰ %	491	4. ³ %	+61	固定資産除去債務+48 など
負債合計	3,219	29. ⁶ %	3,604	31. ³ %	+385	
純資産合計	7,642	70. ⁴ %	7,905	68. ⁷ %	+263	
負債・純資産合計	10,861	100. ⁰ %	11,509	100. ⁰ %	+648	

	2019年9月期第2Q(単体)	2020年9月期第2Q (連結)	
	(百万円)	(百万円)	主な要因(金額は百万円)
営業キャッシュ・フロー	+481	+907	税前純利益 +1,151、法人税等の支払△542
投資キャッシュ・フロー	△296	△228	有形固定資産の取得△237
財務キャッシュ・フロー	△342	△431	自己株式の取得△215、配当金の支払い△272
現金及び現金同等物 増減額	△158	+247	
現金及び現金同等物 期末残高	6,667	7,157	

※当期第2四半期より連結決算を行っておりますので、増減は前年同四半期単体実績との比較を記載しております。

3 2020年9月期連結業績予想

2020年9月期連結業績予想（期首単体予想比）

	2019年9月期 期首予想(単体)		2020年9月期 連結業績予想			
	金額	売上高比	金額	売上高比	増減	
	(百万円)		(百万円)		額(百万円)	率
売上高	11,848	—	11,063	—	△785	△6.6%
営業利益	1,600	13.5%	1,099	9.9%	△501	△31.3%
経常利益	1,600	13.5%	1,098	9.9%	△502	△31.4%
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	1,024	8.6%	791	7.2%	△233	△22.7%

※増減は期首に公表した単体業績予想との比較を記載しております。

連結業績予想の内容

- ・プログラミング総合研究所の業績予想を反映。
- ・スプリックス単体では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、森塾における売上減など最新の予想を反映。単体ベースでは、単体期首予想に対し売上高△785百万円(△6.6%)、営業利益△460百万円(△28.8%)、経常利益△460百万円(△28.8%)、当期純利益△208百万円(△20.3%)を見込む。

下半期の活動と新型コロナウイルス感染症による影響

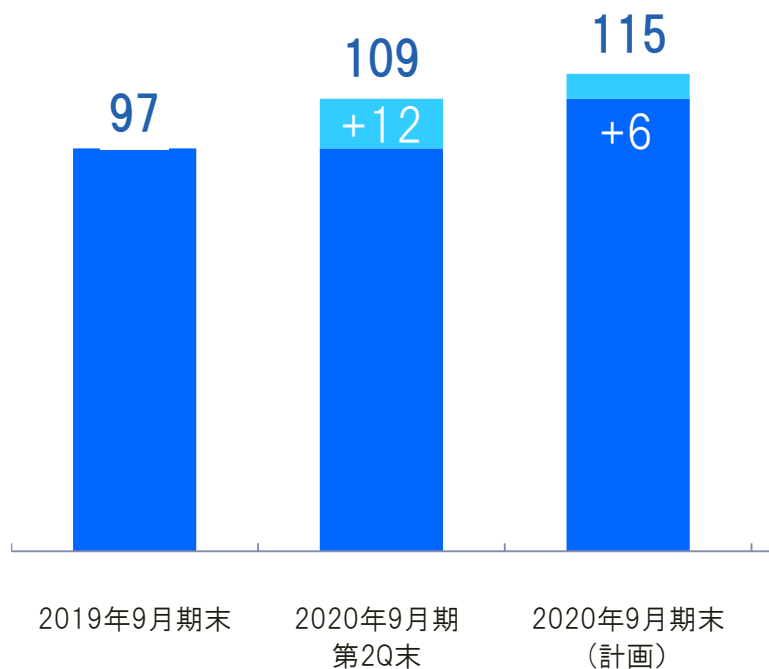
- 「森塾」
 - ▶ 開校 : 予定通り6校舎
 - ▶ 生徒数 : 春期講習以降の入塾が低調
 - ▶ 4月新卒採用 : 予定通り
 - ▶ 授業 : 「オンライン個別指導」も継続
- 「自立学習RED」
 - ▶ FC展開 : 新規開校ペースは不透明
 - ▶ 授業 : 「在宅学習サービス」も継続
- 教育関連サービス
 - ▶ 教育コンテンツ(教材・映像コンテンツなど)販売 : 販売先の業績低迷による減収
 - ▶ 「東京ダンスヴィレッジ」 : 休校による減収
 - ▶ 「プログラミング総合研究所」 : 検定サービスの開発を継続

※新型コロナウイルスに関連して事業環境は日々変化しており、今後当社グループの業績に大きな影響を及ぼす事象が発生した際は、改めてお知らせいたします。

教室開校計画



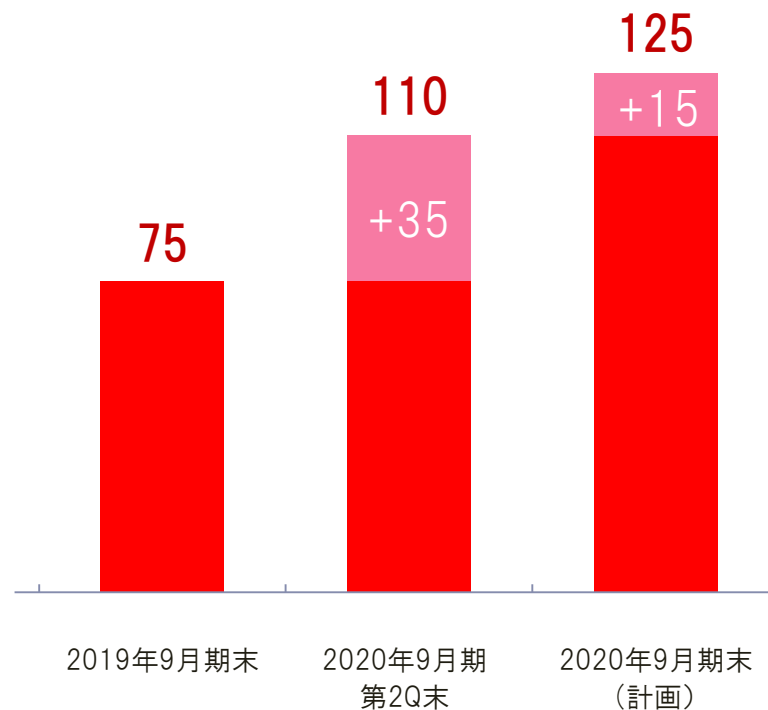
2020年9月期
上期に12教室増加
下期に6教室増加予定



直営教室数の推移



2020年9月期
上期に35教室増加
下期に15教室の増加を計画するが不透明



FC教室数の推移

配当性向30%を目途に、安定的な配当を実施。

	第2四半期末	期末	合計	配当性向
2018年9月期	15円	20円 ※	35円 ※	36.1%
2019年9月期	15円	16円	31円	29.9%
2020年9月期(予想)	15円	16円(予想)	31円(予想)	67.0%(予想)

※ 上場記念配当 5円を含む

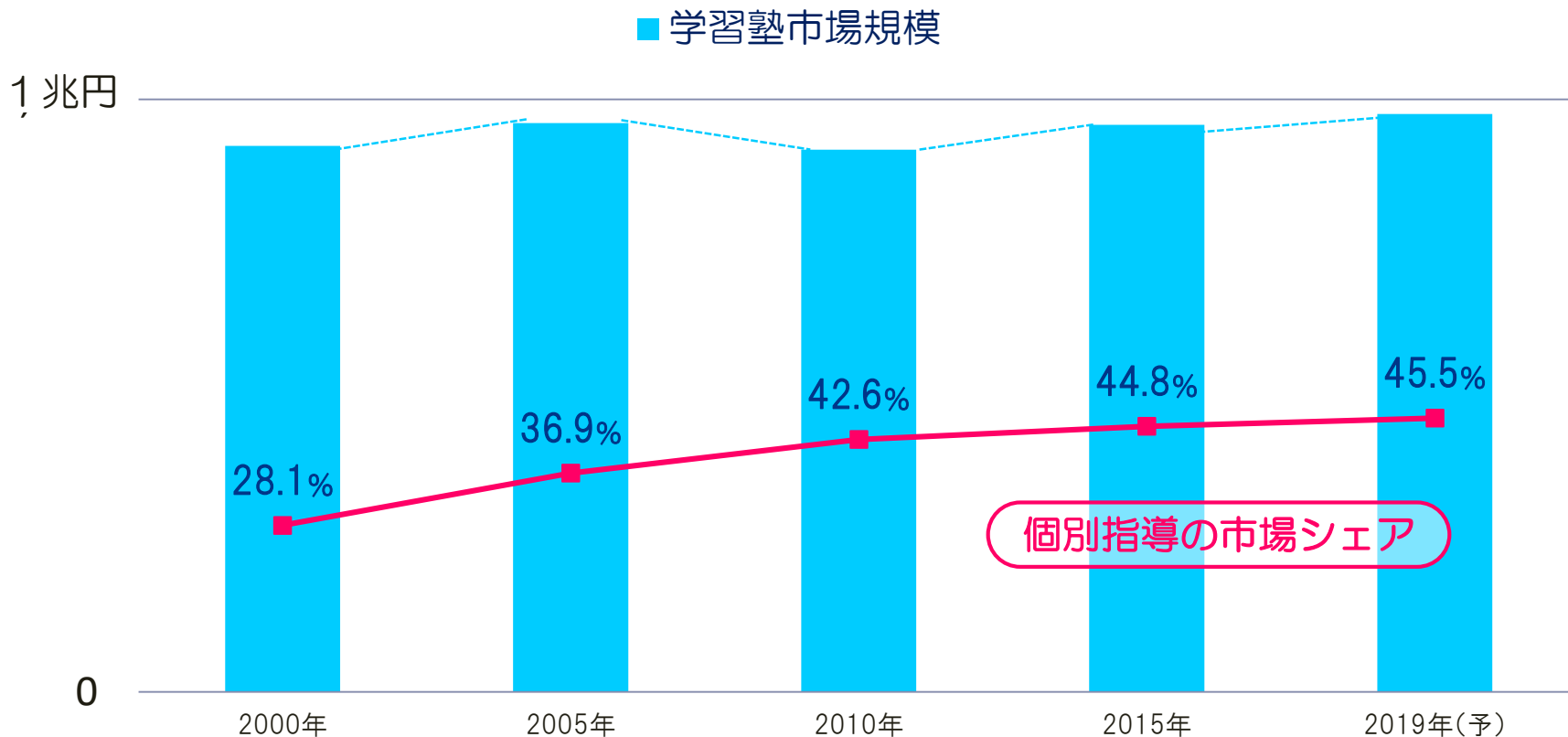
4 森塾について



- ▶ 先生1人に生徒2人までの個別指導型の学習塾
- ▶ 1校舎あたりの平均生徒数は約250名で日本最大規模
- ▶ 第2四半期末において、直営で109教室、FCで41教室を展開
- ▶ 定期テストで「1科目20点以上成績が上がることを保証する「成績保証制度」
- ▶ ITを活用し、成績の上がる仕組みと効率的な運営を実現
- ▶ 「オンライン個別指導」を導入。コロナウイルスの感染拡大に対応。

学習塾業界の市場規模推移と個別指導

少子化に関わらず、市場規模は横ばい。
一人単価上昇により個別指導のマーケットは拡大(集団指導のマーケットは縮小)。



出所: (株)矢野経済研究所「教育産業白書」を基に当社で作成

森塾の展開余力

地域に依存しない集客力→日本全国の都市部でも地方でも展開可能。



新潟(長岡)で創業し、関東中心に展開。

5 その他事業について

自立学習RED

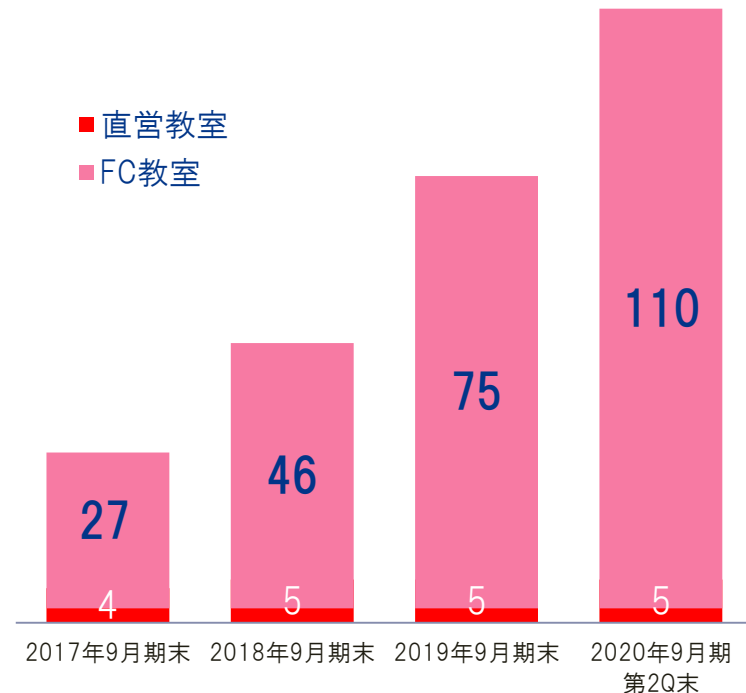
教育ITでとことん学ぶ個別学習塾

自立
学習
RED



- ▶ 教育ITコンテンツで指導するため、講師は不要。
→ 学生講師が採用できない地方や小さな町(かなり小商圈)でも展開が可能
- ▶ FC展開のため、展開スピードが速い。
- ▶ AIを使って指導しているため、ビッグデータの蓄積で指導力が飛躍的に改善する可能性が高い。
- ▶ 「在宅学習サービス」を開始。自宅に居ながら個別最適化された学習カリキュラムの受講が可能。

— 自立学習RED教室数の推移 —



経済産業省『「未来の教室」実証事業』の事業者として再び採択。

- ▶ 未来の教室は、EdTechなどを活用して課題発見・解決能力育成を両立する新たな学習プログラムの開発などを旨とする経済産業省の実証事業。
- ▶ 自立学習の個別最適化プログラム「eフォレスタ」を公教育向けに再定義し、学校教育の実態にあわせたカリキュラムおよびオペレーションのあるべき姿を構築し、公教育と民間教育の連携を実証する。



経済産業省「未来の教室」ホームページ(<https://www.learning-innovation.go.jp/>)より

フォレスタネットとフォレスタコーチ

教育ITでNo.1になるための様々な教育プラットフォームへの挑戦。



フォレスタネット

学校チャンネルへの挑戦

学校の先生の長時間労働を解決。
授業準備や教材準備が無料でできる学校の先生専用SNS。



フォレスタコーチ

「勉強したい」という気持ちをサポート

中高生の学習に対するモチベーションを喚起するアプリ。
生徒が「自分で学習できるようになる」ための
学習計画機能やグループ学習機能を搭載。



フォレスタ道場

- ▶ ビッグデータを活用した基礎学力育成プログラム。生徒ひとりひとりに最適なスパイラル学習を提供。
- ▶ 国語(漢字/言葉の意味)及び英語をラインナップ。計算も開発中。文科省が掲げる「学力3要素」の根幹を成す知識・技能を効率的に習得。

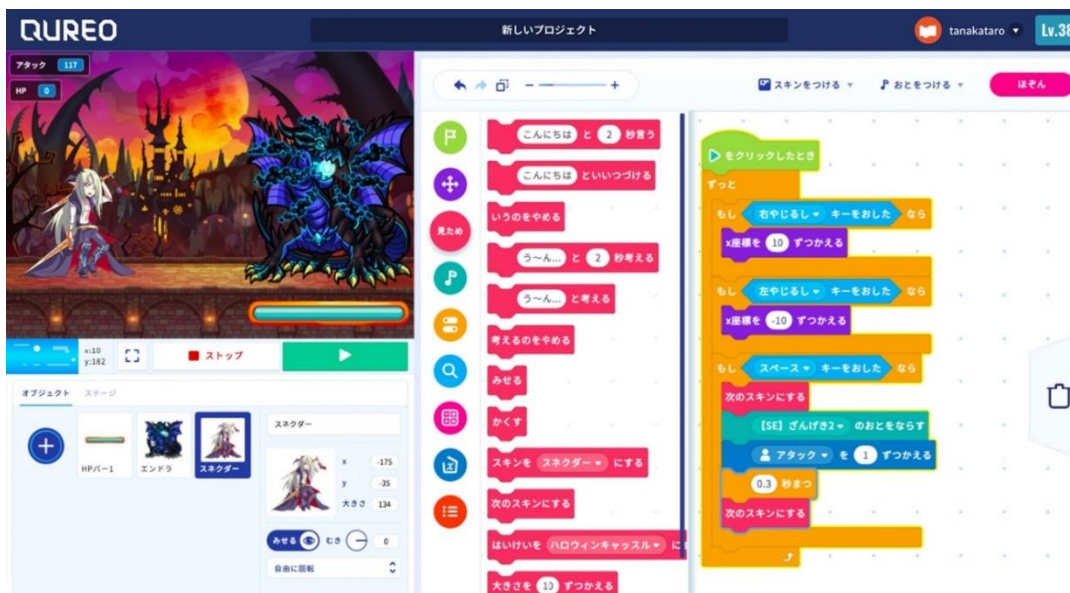




株式会社キュレオを株式会社CA Tech Kids[※]と共同設立。

※ 株式会社サイバーエージェント（東証1部 4751）の連結子会社

- ▶ 学習塾等へのプログラミング教育支援サービスを開始。
- ▶ スプリックスはオペレーション構築と学習塾等への販売・研修支援等を行う。
- ▶ プログラミング教育は、2020年より小学校において必修化。
- ▶ 第2四半期末時点で1500教室を突破。



プログラミング総合研究所

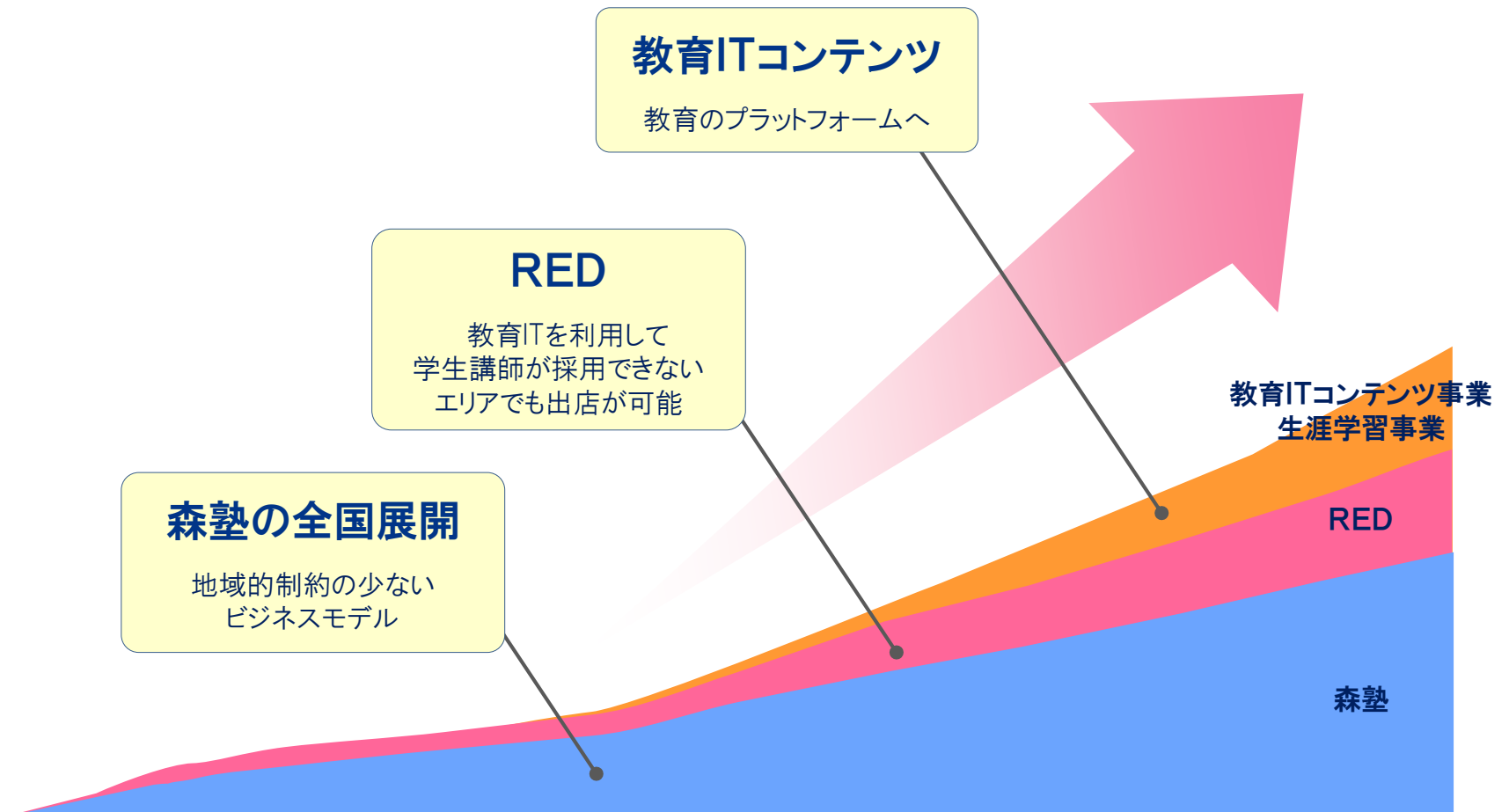
株式会社プログラミング総合研究所を
株式会社サイバーエージェントと共同設立。

- ▶ プログラミングの基礎知識を測る「プログラミング能力検定」の開発・運営・販売を行う。
- ▶ スプリックスは検定事業のノウハウと学習塾等への展開を担う。
- ▶ 急速に広がるプログラミング教育の為の新しい評価指標を提供する。

プログラミング能力検定

今後の成長ステップ

「教育×IT」でNO.1を目指す。



Appendix

DATA SHEET

DATA SHEET

	単位	2015.9 <単体>	2016.9 <単体>	2017.9 <単体>	2018.9 <単体>	2019.3(2Q) <単体>	2019.9 <単体>	2020.3(2Q) <連結>	
業績	売上高	千円	5,832,267	7,035,473	8,504,920	10,451,776	5,913,588	11,410,180	5,885,088
	営業利益	千円	—	505,499	1,164,342	2,467,110	1,561,231	2,741,939	962,853
	経常利益	千円	337,437	505,337	1,165,398	2,423,278	1,562,594	2,744,083	962,013
	(親会社株主に帰属する) 当期純利益	千円	184,367	232,829	854,949	1,566,498	1,026,063	1,773,188	698,624
資産・負債	流動資産	千円	—	2,457,843	3,791,005	8,587,133	8,719,346	8,891,575	9,299,179
	固定資産	千円	—	1,017,129	1,262,749	1,380,251	1,682,974	1,970,033	2,210,180
	資産合計	千円	2,933,728	3,474,972	5,053,755	9,967,384	10,402,321	10,861,608	11,509,359
	流動負債	千円	—	1,425,095	2,097,318	3,099,047	2,812,971	2,788,199	3,112,320
	固定負債	千円	—	263,466	361,683	399,126	437,005	430,985	491,984
	負債合計	千円	1,343,074	1,688,562	2,459,001	3,498,173	3,249,976	3,219,185	3,604,305
	純資産合計	千円	1,590,654	1,786,410	2,594,753	6,469,210	7,152,344	7,642,423	7,905,054
キャッシュ・フロー	営業キャッシュ・フロー	千円	—	—	1,340,595	2,499,904	481,128	1,288,692	907,233
	投資キャッシュ・フロー	千円	—	—	△320,403	△145,923	△296,785	△696,196	△228,223
	財務キャッシュ・フロー	千円	—	—	△47,356	2,263,676	△342,770	△598,509	△431,746
	現金及び現金同等物の 期末残高	千円	—	—	2,207,901	6,825,559	6,667,132	6,819,546	7,157,510

SPRIX